

(公財) 米盛誠心育成会だより 第27号

令和の時代に

理事長 米盛庄一郎



平成天皇の生前退位に伴い、5月から新元号「令和」が始まりました。元号は古代中国の前漢の武帝の時代に始まった制度で、現在は...

日本での最初の元号は「大化」です。それ以後の名前は200以上付され明治以降は一世一元と定められ、天皇一人一つの元号となったのです。

昭和天皇が崩御された昭和64年1月には、翌日から元号が「平成」に改まりました。平成天皇の生前退位については様々な議論がありました...

近代日本は明治以降始まりました。その中で、明治、大正、昭和と戦争が続いている時代でもありましたが、多くの犠牲を払いながらも日本は戦後復興を果たし、世界に誇れる国となり、平成の世は戦争のない時代でありました。

未来永劫、日本だけが平和である保証はありません。また、地震、台風、大雨などによる自然災害は毎年のように全国各地で起こっています。

令和の時代の平和と安心・安全は全国民の願いです。当財団では今年度、県立図書館の原口泉館長に近代日本を拓いた「薩摩の二十傑」の著書を執筆していただき、県内全公立高校に贈呈いたしました。昨年は大河ドラマ

「西郷どん」で大いに湧いた鹿児島でしたが、その他にも多くの偉人達が汗と涙を流してこの国の土台を作ったことを学んでいただければ幸いです。

公益財団法人米盛誠心育成会の基本財産は明治生まれの米盛建設創業者米盛庄太郎、シゲ夫妻の長年の質素・儉約による遺産によります。

奨学金、研究助成金の返済義務はありませんが、皆さんが受けた恩恵は将来、周りの人へ繋いでください。返すのは金銭とは限りません。何らかの「かたち」で続けることが大事なのです。令和が良い時代であったと言えるように。

令和元年度採用の奨学生



奨学金受給希望者の中から、所属学校等の推薦書及び選考委員による面接の結果、7名が決定され6月22日採用通知書の交付式を行いました。

米盛理事長から採用決定書の交付と祝辞があった後、竹元、徳重両選考委員、先輩奨学生の松下さんからお祝いや励ましの言葉をいただきました。財団発足以来の採用者は、382名になりました。

鹿児島工業高校1名、隼人工業高校1名、鹿児島工学院専門学校2名、鹿児島大学大学院1名、鹿児島大学留学生2名



令和元年度採用の奨学生の皆さん

平成30年度奨学生終了式・進路

3月、5名の奨学生が卒業しました。それぞれの進路でなご一層、ご活躍ください。進路先は次のとおりです。

- ▽進級・鹿児島工学院専門学校専攻科へ
▽就職・京セラ(株)、KMバイオロジクス(株)、構造計画研究所へ

令和元年度研究助成金交付団体が決定

今年度の研究団体への助成金は、次の4団体(260万円)に決定し、7月18日鹿児島大学、鹿児島工業高等学校に於いて、米盛理事長から各団体代表者へ助成金目録の贈呈を行いました。また、昨年度からの継続分5件には250万円が決定し、今年度の助成金総額は510万円となりました。



鹿大学長室で贈呈式



鹿児島高专で贈呈式

(鹿児島大学地盤工学研究グループ)
*非接触式赤外線火山灰センサーによる桜島降灰の自動計測と灰データ利用者へのネットワークシステムの開発
(鹿児島高专栞健一助教)

奨学生からの便り(抜粋)
鹿児島工業高校3年 柏木瑞流

奨学生として採用していただいたことで、今まで費用の面から手の届かなかった数々の資格試験に挑戦することができました。このような素晴らしい機会を与えてくださったことに深く感謝しております。

私は一級建築士を志し鹿児島工業高校に入学しましたが、日々学習を積み重ねていく中で建築ひとつにしても様々な業界が支え合いながら成立していることを学び、まだまだ自分の知らない世界が世の中にはたくさんあり、ひとつの世界にとどまることなくもっとたくさんの世界をこの身で感じたいと思うようになりました。残された高校生としての1年間で2級施行管理技士やパソコンの利用技術の検定や英語関係の試験にも挑戦し、幅広い技術をもつ人間になりたいです。そしていつかこのふるさと鹿児島に恩返しができるよう感謝の気持ちを忘れずに心に留めておきたいと思っております。

隼人工業高校1年 泊ののか
交付式でお祝いのお言葉をいただき、今後の私の活動を応援していただけることが嬉しく、これからは経済的に母の負担を少しでもなくすことができることを感謝しています。

母子家庭で母の収入だけでは私の学費をだすには困難な状態で、そんなとき高校の先生から奨学生を募集していると声をかけていただき米盛誠心育成会のことを知り奨学生希望しました。面接は受験以来の緊張でしたが作文ではしっかり自分の言葉で将来の夢や自分を表現することができました。

パソコン利用技術検定の資格やカラーコーディネーター3級の資格取得などにも挑戦し、自分にできることはなるべく多

くやり将来役に立つような技術をたくさん身につけ、奨学生として恥かしくないよう、進路実現に向けて目標を立てて努力していきます。

鹿児島工学院専門学校2年 長崎平

2級施工管理技士の筆記試験や前期中間試験も終わりましたが、このままではいけないと思いい成績を上げるために努力しているところです。これからも頂いた奨学金を無駄にすることのないよう教材費等に充てて勉強したいと思います。

今後は、材料実験という授業で本格的にコンクリートの強度実験などありますが、その際の強度計算がとても大変です。在学中にできる限り頑張つて慣れていこうと思います。構造設計や構造力学という授業では許容耐力やモーメントなどの計算を主に行っていますが、進むたびに複雑化しているのも、とても不安があります。少しずつ慣れることで頑張りたいと思っております。

今後も困難なことがたくさんあると思いますが奨学生であるという自覚をもち、恥じることはないよう精進していこうと思っております。

鹿児島工学院専門学校2年 泊杏奈

私達の学費などのために、仕事を2つ掛け持ちしている母にこれ以上負担をかけるまいと、自分の学費や交通費は自分で稼ごうと思いい、学業よりアルバイトを優先した結果、勉強が疎かになっていました。2年生になり、これではいけないと思いいアルバイトの時間を減らし学業に今まで以上に集中したいと思つていた時に貴会の奨学生の話があり申請させていただきました。採用されたことで、経済的にも気持ち的にもより余裕が生まれ、学生の本分である学業に専念することができました。

今年度は2級管理士やカラーコーディネーター2級など資格取得や県内の企業へのインターンシップに積極的に参加し、将来自分はどうのようにまちづくりに関わりたいのかを明確にし、実現する努力をしていきたいと思いいます。奨学生として恥かし

くないよう希望が実現出来るよう努力していきます。

鹿児島大学院1年 徳田優志

採用通知交付式の際、竹元理事のお話で「夢なき者は理想なし、理想なき者は信念なし、信念なき者は計画なし、計画なき者は実行なし、実行なき者は成果なし、成果なき者は幸福なし、ゆえに幸福を求めるものは夢なるべからず」という渋沢栄一の「夢七訓」を私は初めて聞きました。幼い頃から建築家になるという大きな「夢」は持っていました。が、「理想」以降のことについては考えたことがなく、努力のわりに十分な成果が得られなかったことの多くはここにあったのではないかと話を聞いて思いました。

これから先現在の「夢」が変わっても、夢のままで終わることがないように「夢七訓」を常に頭の片隅に置き考え続けていこうと思います。

貴重な奨学金は書籍の購入などに充て、論文発表などで結果を残し、奨学生を希望する後輩たちの良き手本となれるよう努力したいです。

鹿児島大学院2年 孟卓然(内モンゴル)

私は日本語の教師を目指して鹿児島大学で日本語と中国語の語彙の比較研究をしています。日本と中国の交流は長い歴史があり、政治、経済などの交流が日々深まるにつれ言語の交流は必要不可欠な役割を果たしています。人が思いを伝える時には言語でのコミュニケーションが欠かせないもので言語に関わる研究は非常にやりがいがあり、同時に責任感を感じられ、これからも頑張っていきたいと思っています。

桜島や錦江湾などの世界に誇れる地域特性を持つ鹿児島もふるさとだと胸を張って言えるように、鹿児島の自然と文化をもっと深く理解し、いろいろな体験をしていきたいと思っています。今後は地域政策科学専攻への進学を考えており、自分の言語知識を活かしてより一層勉学に励み、地域社会に貢献できる人間を目

指して頑張っていきたいです。

鹿児島大学2年 姜新煒(中国)

去年の四月から鹿児島大学に進学し充実した毎日を楽しんで過ごしています。勉強以外に自分の興味ある活動に参加する一方、母国の家族に負担をかけないように、アルバイトを二つ掛け持ちしていました。柔道部に入部し困っていた時、学生係から奨学生募集の話をしていただき、採用していただきました。二年生となり、受講している専門授業は少ないですが、農作物の品種改良について興味があります。農産物の生産環境は地球温暖化の影響を受け日々厳しくなり、生産環境に適応でき産量を増やせる新品種を作り出す事が目前に迫っています。奨学金でアルバイト時間を減らすことができたので、できるだけ多くの知識を身に付けたり、様々なボランティア活動や柔道の練習に励みたいですね。学業と趣味を両立させTOEFLや柔道の昇段試験に合格できるように頑張りたいです。より優秀な成績を修め、支援して下さる米盛誠心育成会の方々へ報いる事で、感謝の気持ちを伝えたいです。

継続奨学生からの便り(抜粋)

鹿児島工業高等学校5年 松下静香

奨学生になって1年が経ち、2ヶ月毎に提出する「生活状況報告」を書くにあたって、毎月の自分の行動を振り返り次の目標を立てることが習慣となつていきます。今年度も良いご報告ができるよう努力していきたいと思っています。

最高学年の5年生となり卒業研究の間が多くなり、構造学の専門研究室に入りました。卒業研究のテーマは「紙を使った2点荷重の構造物に関する実験的研究」です。今年度の「デザコン」のテーマに沿ったもので紙でつくった橋の強度、デザイン、軽さを競います。紙を使うのは初の試みで他のチームがどのような橋をつくっているのか楽しみにしています。

5月には大学編入試験があります。大学の卒業研究に興味があったから鹿児島大学に編入することを決めました。

鹿児島大学3年 朴珍錫(韓国)

今年は大生活の中で一番大事な研究室を決める事があります。建築学科は設計、構造、環境に分かれて自分が決めた専門で仕事をします。お互い協力しますが、環境の研究室に行つて設計部門に就職をしたり、設計の研究室に行つて構造系に就職するのはなかなか難しいです。

日本にきた目的は建築で、一番大事な事は安全つまり構造的な問題だと思ひ、構造系に進む予定です。施工管理もしくは構造設計のどちらに行くか悩んでいます。どちらも面白いし興味があるので専門授業を受けながら、決めようと思ひます。鹿児島に来てほぼ2年経ち、いろんなことを経験出来ました。日本語は難しく、無謀な挑戦だと思ひましたが、勉強しながら本当に行けるのかという疑問がありました。今年も初心を失わず、学生寮の会計の仕事もしっかりやり、なんでも慎み行動しようと思ひています。

鹿児島大学4年 ナディア アディブラセティオ(インドネシア)

今年就職活動、卒業論文、卒業設計で忙しい一年になります。学生生活最後の年として大きく躍進する年にできればと考えています。

卒業論文は狭小空間と心理評価についてです。増加し続ける建物の数で土地の面積がますます狭くなり狭小住宅での空間に生活の快適さを改善するため、このテーマを選びました。卒業設計ではインドネシアにある貧困街の改善計画をテーマにヴァナキュラー建築を利用したため、インドネシアの建築材料と形を調べています。就職は建設業界とディスプレイ業界を目指しています。また、鹿児島大学留学生協会のメンバーとしても一生懸命活動しています。最後の一年、勉強と学外生活を両立するために頑張る、悔いのない一年を送りたいと考えています。



鶴田義行の偉業たたえる

公益財団理事長 米盛庄一郎(60)

8(昭和3)年開催の第9回アムステルダム五輪NHK大河ドラマ「いだてん」に登場している記録を出し、競泳で日本初の人初メダルを獲得。出身の競泳選手鶴田義行。本紙ひろば面に投稿がありましたが、改めて五輪2連覇を成し遂げます。そんな鶴田の偉業を知っている人が少ないこと

甲突川上流の石井手取水場を愛した米盛誠心育成会 少年時代は生家近くの甲突川上流の石井手取水場を愛した米盛誠心育成会 25(大正14)年の明治神宮競技大会で優勝。日本競泳界で注目されるようになった。1921年、鹿児島の青少年

8月2日 南日本新聞掲載記事より

鶴田義行顕彰

今年NHK大河ドラマ「いだてん」第二話から鹿児島出身の水泳の覇者鶴田義行が登場したことにより南日本新聞の「ひろば」欄を飾ることになりました。財団としても鶴田の顕彰の碑について広報する好機と捉え投稿したところ掲載されました。

県内高校生へ図書贈呈

令和の時代を迎えた今年、「地域創生」の視点から地域振興や産産興業に尽力した郷土の先人達を紹介したいと県立図書館の原口館長に執筆を依頼したところ、「近代日本を拓いた薩摩の二十傑」が完成しました。



グローバル社会に飛び立つ高校生の皆さんが何事にもチャレンジする気概をもつて成長されることを期待して県内公立高校へ贈呈しました。

研究助成金進捗状況報告会

30年度、2ヶ年にわたる研究について助成支援するとして決定した鹿児島大学の5件の研究テーマの進捗状況と、最終年度の助成金額を決定する為の報告会を4月26日開催しました。

各研究テーマの代表者から、研究も順調に経過しているとの報告がなされました。出席した役員からは「申請計画どおりいずれの研究も順調な成果が期待できそう。」と好評でした。

研究助成金成果報告会の開催

11月22日、平成29年度から継続助成した3件について報告会を開催、役員15名の出席がありました。鹿児島大学の理工学域工学系満塩助教、水産学部遠藤助教、農学部二神准教授の3名の発表がありました。役員からは「パワーポイントを活用した発表で、趣向や藻場に関する興味ある発表等研究の内容がよく理解できた。是非、レベルの高い研究につなげてほしい」等との感想が寄せられました。



鹿児島大学への助成金の成果

平成27年度農学部加治屋講師による桜島大根の血管機能改善成分の発見や30年度工学部鯉坂教授による県内に点在する「麓集落」の景観研究が地元紙に掲載されました。

事務局連絡先

890-0014 草牟田二丁目二七 米盛誠心育成会事務局 神田・水元 (099) 226-0205 E-mail kanda@yoneg-net.co.jp